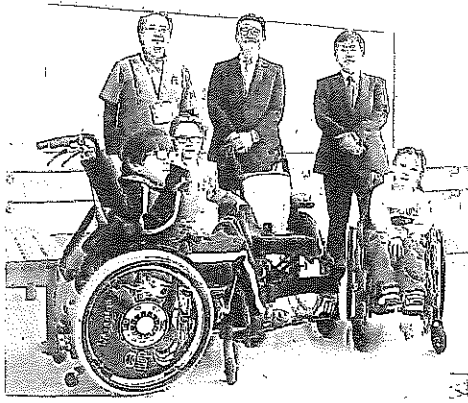


令和6年3月1日 西日本建設新聞

8台目の車いす贈呈



県電設協が子ども療育に

(後列左から)池邊所長、松尾会長、山本委員長

社会福祉事業に取り組んでいる熊本県電設業協会(松尾修一会長)は2月26日、宇城市松橋町の熊本県子ども総合療育センターに8台目となる車いすを贈った。地域の社会福祉を支援

しようとして2014年度から続けている活動は、今回で10年目を迎えた。チャリティゴルフコンペの収益金を基に、これまで、リクライニング式やキッズモデルの車いす7台と大型液晶テレビ2台を同センターに届けている。26日は、松尾会長(飯塚電機工業)、山本健吾広報委員長(新星)、長谷新次郎事務局長がセンターを訪れ、池邊嗣朗所長、福岡弥生看護総師長、宮下靖祥看護師長ら

が奇襲式に出席した。松尾会長は「宝である子ども達に健やかな療育環境を提供されている」と職員に敬意を表し、「全会員の願いを込めて贈呈したい。社会福祉支援事業を協会のSDGsと位置つけて継続的な行事となるよう努めていく」と述べた。池邊所長は「子ども達の新たな学びや好奇心を刺激する豊かな生活が送れるよう有効に活用させていただきます」と感謝した。